

でんでんむし



11月になりました。

11月になりました。県内では各地で様々な行事・イベントがあります。佐賀市では、2017佐賀バルーンフェスタ(1～5日)が開催中です。今年は天気もよく、カラフルなバルーンが空を舞っています。とってもきれいでしたよ。さて、この季節、朝夕の寒暖差など、赤ちゃんの場合、服での体温調整も必要になってきます。赤ちゃんは暑い寒いとかうまく表現できないので、体の様子や表情をよく観察して、快適に過ごせるように工夫してあげるといいですね。



～子育てワンポイントアドバイス～

－あかちゃんの目－ 赤ちゃんはおっぱいやミルクを飲んで寝ているだけのようですが、実は周りの状況に反応しています。あやしたり抱いたりしてくれるママとの肌のふれあいを通して愛情を感じとり、快い喜びを味わっています。生後2か月頃からは、ママを見てほほえみかけるようになり、7～8か月頃には「人見知り」が始まります。これは赤ちゃんの中にママのイメージが深くきざみこまれたことを意味します。パパやママ、家族が互いに思いやり、幸せな気持ちで生活することで赤ちゃんの情緒は安定し、親子の絆が育まれていきます。



－季節の変わり目の赤ちゃんの体調管理は？－

お便りの冒頭でも触れていますが、特に季節の変わり目で気温が変化しやすい3～4月や9～11月は、体温調節がうまくできない赤ちゃんは体調不良になりがちです。こまめに赤ちゃんの様子を見て、服での体温調節はもとより、体を拭いたり、服を着替えさせたり、室内の温度調節なども行ってください。



また、赤ちゃんが体調不良にならないためには、ママ自身の体調管理も大切です。季節の変わり目は、寒暖の差に自律神経が乱され、頭痛やめまい、体のだるさを感じることもあります。できる限り生活のリズムを整えて、栄養のバランスを考え、しっかりと食事を摂ってくださいね。睡眠もとても大切です。赤ちゃんがいるとうまく睡眠がとりづらいものです。家族の方の協力も得ながら、しっかりと睡眠をとるなど、ママの体調管理もお願いしますね。



～ 子育て支援センター「でんでんむし」の10月のイベントから ～



第5回「ママカフェ」 5日

5日は支援センターの第5回目のママカフェでした。親子13組、29名の参加でした。ゆっくりとした時間の中で、お茶やコーヒー、お菓子をいただきながら、楽しいひとときを過ごされたことと思います。ご参加ありがとうございました。



「子育て講話」 12日

佐賀女子短期大学の 大村 綾先生を講師として「一人ひとりを大切にしたい関わり方」という演題でお話をいただきました。ご自分の子育てについてのお話もあり、参加者からは「先生の体験談を聞いて、みんなそれぞれ苦労しながら頑張っていると分かり、ほっとしました。」「共感の育児を意識していきたい。」「子育て中の先生で、とても身近に感じました。話も聞きやすく、来て良かったです。」など、とても好評でした。



今月のメニュー



1～5日 はたけへGO！(いも掘り)
 12日 スマイルフェスタ
 14日 赤ちゃん登校日(西溪校で開催)
 16日 第2回赤ちゃん広場
 17日 食育イベント「でんでんむしクッキング」
 ・内容:親子でいっしょにパンケーキを作ろう
 ・講師:佐賀女子短期大学 小島菜実絵先生

21日 おたんじょうびおめでとう ※児童館と合同
 21日 食育相談会
 ・講師:佐賀女子短期大学 小島菜実絵先生
 22日 子育て講話
 ・演題:子どもの心を声で包んであげましょう
 ・講師:佐賀女子短期大学 山田久三江先生
 ☆連絡先:多久市児童センター内「子育て支援センター」☆
 [Tel 0952-37-1117](みんないっしょに、いいな)

全ての講座・イベントで託児をします。